

VGC-305252H型 単棟

建築面積	30.89㎡（9.36坪）	（間口柱芯寸法）×（奥行柱芯寸法）
------	---------------	-------------------

構造耐力上主要な部分の部材

部 材 名	形 状	板 厚	使用材料	有効細長比
後 柱	□-115 × 115	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	55.0
後面シャッター柱	□-85 × 77.5	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	54.8
中 柱 左右	□-85 × 84	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	76.6
中 柱 左右 (TR)	□-85 × 84	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	79.5
後面シャッター桁	□-335.5 × 77.5	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
桁 中	□-182.5 × 79	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
桁 中 (TR)	□-180.5 × 79	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
桁 後	□-155 × 85	1.2mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC	
壁パネル	〜-25 × 701(350.5)	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC	
中枠補強 柱左右	□-260 × 121	2.3mm+2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	51.2
中枠補強 桁	□-260 × 185	2.3mm+1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	50.3
中枠補強 三角プレート	▽-400 × 400	4.5mm	JIS G3101一般構造用圧延鋼材 SS400	
ブレース	――	7.0φ	JIS G3101一般構造用圧延鋼材 SS400	
ターンバックル	――	7.0φ用	JIS A5541建築用ターンバックル胴 STKM	
アンカープレート	――	6.0mm 9.0mm	JIS G3101一般構造用圧延鋼材 SS400	

構造耐力上主要な部分以外の部材

部 材 名	形 状	板 厚	使用材料
上 枠	□-430 × 55	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
下 枠	□-81 × 64	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
中柱カバー	□-26 × 145	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
間 柱	□-31 × 24	1.2mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
屋 根	▽-88 × 600	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
シャッタースラット	□-14.5 × 71	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
鼻 隠 し 後	□-122 × 48	0.5mm	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板（ツートンカラー）
ケ ラ バ	□-130 × 135.5	0.5mm	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板（ツートンカラー）

・布基礎断面図 縮尺=1/20

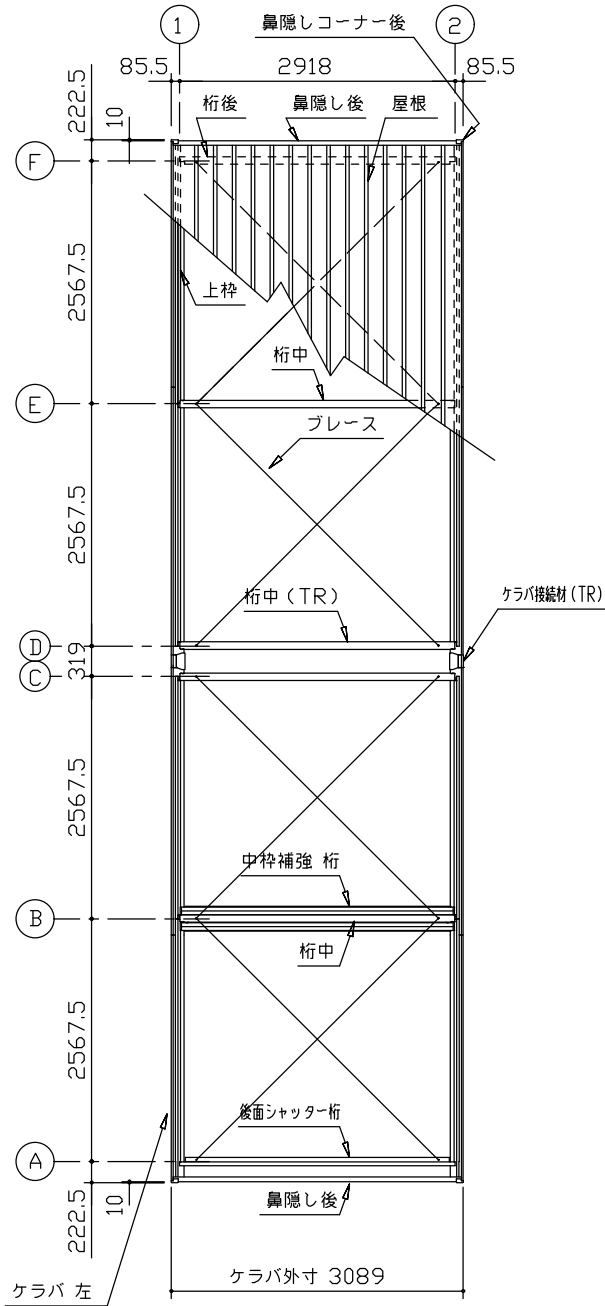
（地耐力 50kN/㎡以上,コンクリート設計基準強度 18N/㎡以上）
（基準風速 34m/s , 地表面粗度区分Ⅱ）

< 上記条件での参考図です。 >

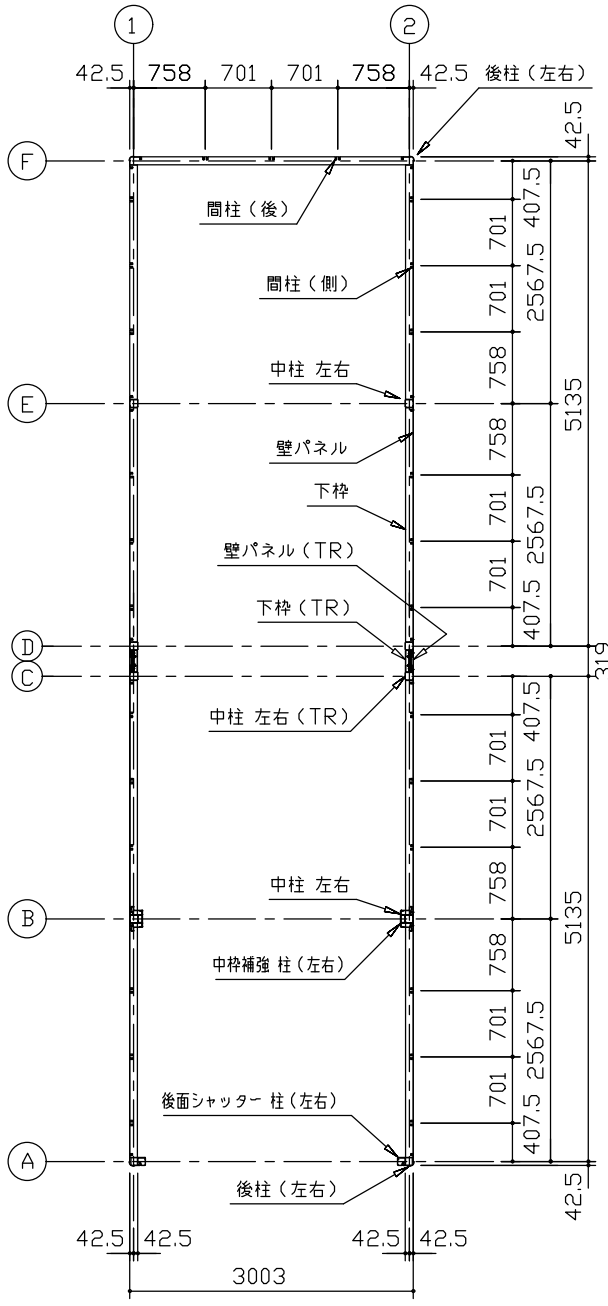
注 1) 地耐力が 50kN/㎡ 未満の場合は、地耐力に応じた底盤幅に変更して下さい。

注 2) 寒冷地の場合、凍結深度等を考慮し、実情にあわせて設計して下さい。

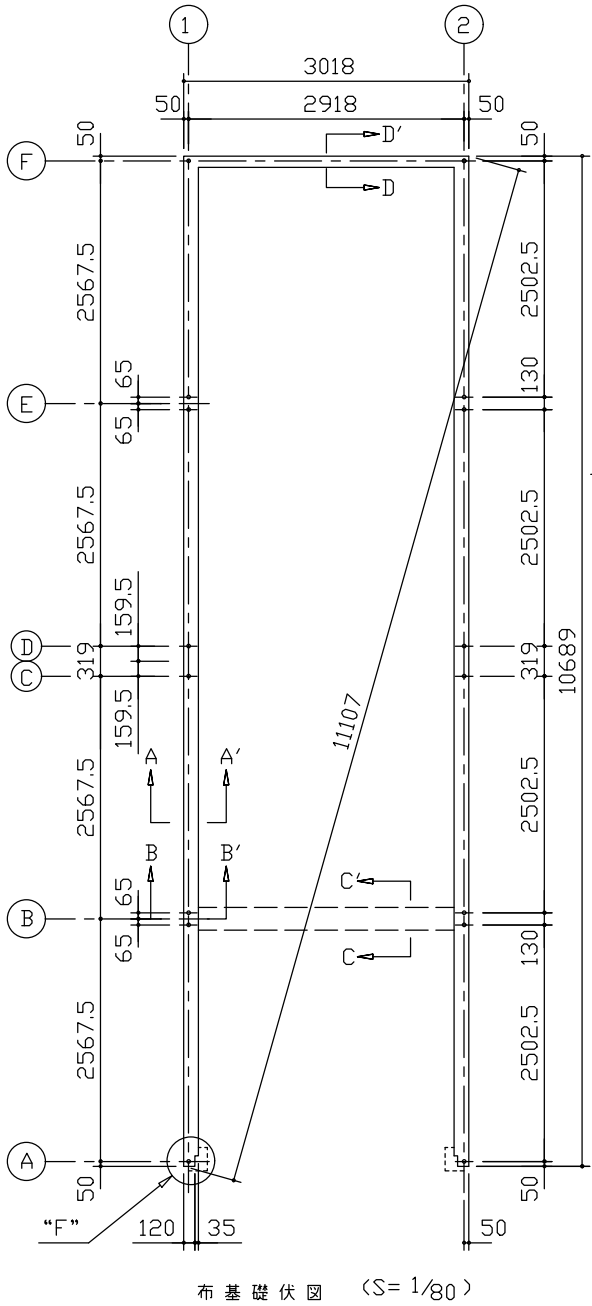
注 3) その他現地の実情にあわせて設計して下さい。



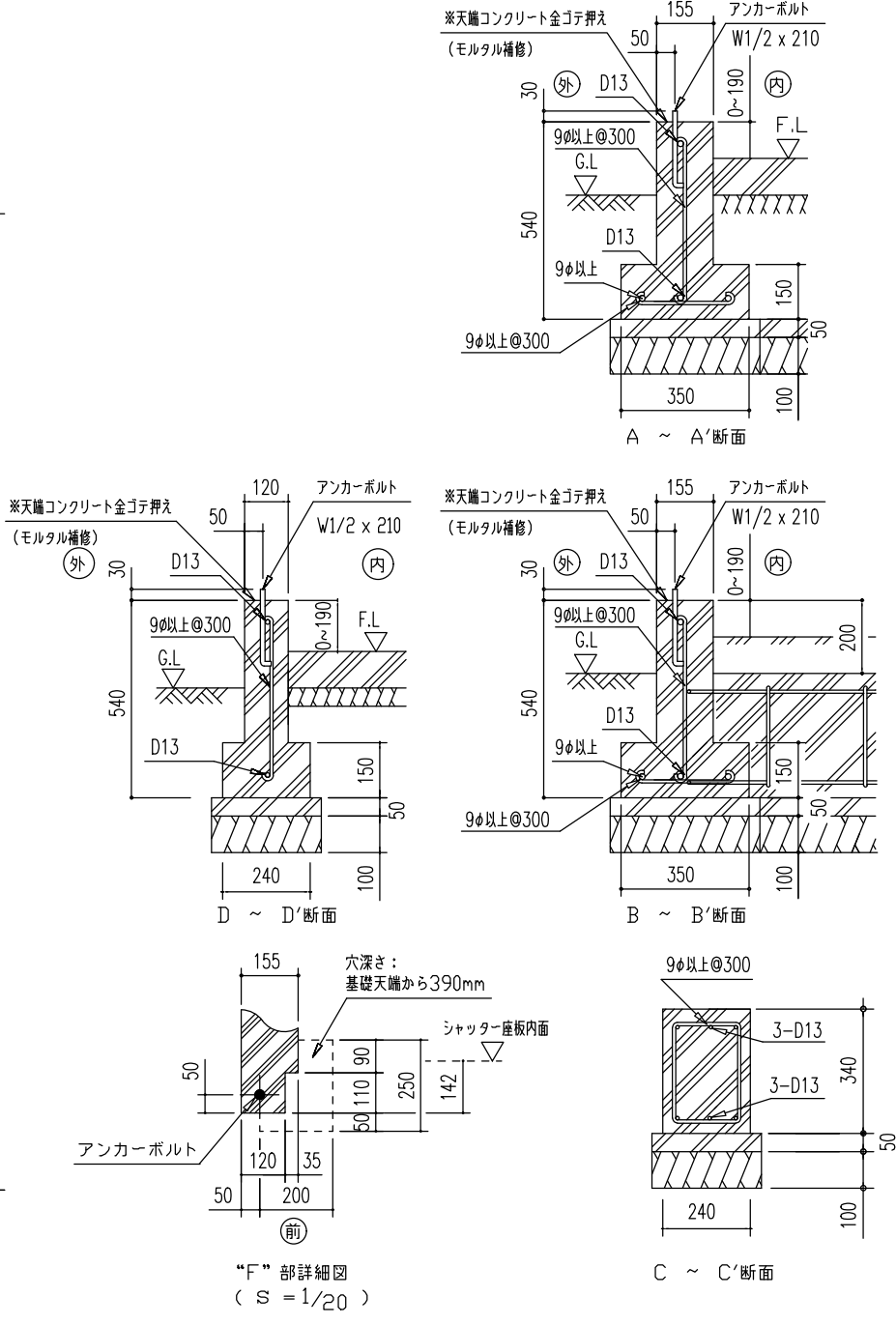
小屋伏図 (S=1/80)



平面図 (S=1/80)



布基礎伏図 (S=1/80)



名 称	ヨドガレージ ラヴィージュⅢ
機種名	VGC-305252H 型 (単棟)

株式会社 ヨドコウ

・有効高サハ、基礎高サヲ含ミマセン。